

静かな空を
もとめて

昭島支部だより

第2次新横田基地公害訴訟
昭島支部 9月25日 第10号
発行責任者 永川勝則
編集責任者 奥村 博

第2回裁判 10月30日(水) 11時立川支部

第2回裁判が近づいてきました。第1回口頭弁論で国側は、形式的な認否を示しただけで、具体的な反論は10月11日まで提出するかと回答していました。国側の反論をしっかりと検証しながら第2回裁判では、原告側の反論だけではなく、第2陣原告の方や弁護団からは補充陳述として、落下物の危険性、飛行訓練空域の広域化、そしてオスプレイ配備問題を加える予定です。

第1回口頭弁論では昭島からも多くの原告団家族や支援する方々で、傍聴席は埋めつくされました。今回も昭島市の協力を得て、バスによる参加を予定しています。市役所を出発し、田中町団地、緑公園、高齢者福祉センター、湯楽の里を経由して東京地裁立川支部に向かいます。

危険極まりない空軍仕様のオスプレイを横田基地に配備しようとする新たな動きを何とかさせないためにも、重要な裁判となります。前回以上の傍聴を呼びかけます。



首都東京が危険極まれなオスプレイの訓練空域に、多くの住民や「横田基地へのオスプレイ配備を許さない会」の声をあげています。共同した闘いの組織化が求められる中で、二つの訴訟団が中心となるよう奮闘しています。

多くの団体が参加しているだけに、27日の集会が成功するよう奮闘しています。

幅広い共同の闘いに

許さない会

CV22空軍仕様

オスプレイが横田にやってくる！ 飛行の実態と被害

多くの参加を!

映像による報告
普天間訴訟団
岩国訴訟団
交流会
仲間と連帯し
横田の運動は

2013年10月27日(日)午後3時30分
昭和会館2階集会室

横田基地へのオスプレイ配備を許さない会

オスプレイ 横田基地配 備反対！

撤回求める意見書 各地で次々と可決！

昭島・福生でも意見書可決の動き

八王子

意見書可決

八王子市議会は18日、「垂直離着陸輸送機CV22オスプレイの横田基地配備に反対する意見書」を共産党、公明党の賛成多数で可決しました。「八王子市においては、多くの市民が横田基地から飛来する航空機騒音に長年悩まされ続けており、今回の横田基地へのオスプレイ配備検討の報道は、八王子市民の生命と財産を守る立場から看過できない」と撤回を強く求めています。

瑞穂

意見書可決

瑞穂町議会は20日、「横田基地配備検討の撤回を求める意見書」を自民党と民主党の2議員が反対しましたが、賛成多数で可決しました。意見書では「横田基地は周辺5市1町だけでも51万人が暮らす市街地であり、万が一航空機事故が発生すれば、甚大な被害が及ぼされる地域」と指摘し「とりわけ、わが街は滑走路の延長線上に位置しており、その影響を最も被る自治体である」訴えています。

羽村

意見書可決

羽村市議会は19日、「米空軍の垂直離着陸機CV22オスプレイの横田基地への配備検討を撤回するよう政府と都に求める意見書」を全会一致で可決しました。意見書では、航空機騒音や墜落・部品落下など人命に関わる事故に対する周辺住民の不安が続いていると強調。報道されたことに対し、「横田基地への配備が検討されていること自体、極めて遺憾」と表明しています。

武蔵村山

意見書可決

武蔵村山市議会は20日「CV22オスプレイの横田基地への配備検討を撤回するよう求める意見書」を全会一致で可決しました。同市議会は昨年出された陳情・意見書案は否決していましたが、今回は「横田基地は特殊作戦の出撃拠点とされ、日常的に危険な降下訓練や低空飛行、夜間訓練などの実施が予想される」と指摘し、横田空域についても触れ「日本の人口の3分の1を占める首都圏上空一体がオスプレイの訓練空域にさらされるとして断じて認めることはできない」と批判。

青梅

意見書可決

青梅市議会は18日、オスプレイ配備検討の撤回を、政府と米国に求める意見書を、全会一致で可決しました。意見書には「本市は、過去に米軍機の墜落事故が有り、横田基地の周辺自治体として、航空機の騒音や事故に重大な関心を持っている」として検討されること自体、到底容認できないと批判しています。

立川

陳情採択

立川市議会の総務委員会は18日、市民が提出した「垂直離着陸機オスプレイの横田基地への配備を許さない意見書の提出を求める陳情」を全会一致で採択しました。10月1日の本会議で陳情を採択し、意見書を議決する予定です。陳情は「いかなるオスプレイの配備も許さないことを申し入れる」よう関係機関に求めています。同市議会では昨年9月にも、MV22オスプレイの同基地への飛来を許さないよう求める陳情を、賛成多数で採択していました。